

2019年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月9日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <https://www.ams-life.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 土屋昭弘

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 2019年4月12日 配当支払開始予定日 2019年5月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第2四半期の連結業績(2018年9月1日～2019年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第2四半期	8,338	8.0	598	15.9	617	22.6	502	48.2
2018年8月期第2四半期	7,723	5.4	516	13.3	504	14.2	338	48.3

(注) 包括利益 2019年8月期第2四半期 498百万円 (46.1%) 2018年8月期第2四半期 341百万円 (43.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第2四半期	35.72	
2018年8月期第2四半期	27.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第2四半期	18,124	10,010	55.2
2018年8月期	18,007	9,652	53.6

(参考) 自己資本 2019年8月期第2四半期 10,010百万円 2018年8月期 9,652百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年8月期の連結財政状態は、当該会計基準等を遡及適用後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期		10.00		10.00	20.00
2019年8月期		10.00			
2019年8月期(予想)				15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年8月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭
 詳細は、2019年3月18日発表の「期末配当予想の修正(創業50周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	1.3	1,050	2.6	1,030	4.9	770	4.5	54.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年8月期2Q	14,144,720 株	2018年8月期	14,144,720 株
期末自己株式数	2019年8月期2Q	80,969 株	2018年8月期	80,969 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年8月期2Q	14,063,751 株	2018年8月期2Q	12,108,751 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中貿易摩擦の動向など海外経済の不確実性が懸念要因としてあるものの、雇用・所得環境の改善により個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループが属する健康食品市場は、インバウンド需要の好調などにより、緩やかな成長基調を維持しております。近年、主力顧客層である高齢者層に加え、不足しがちな栄養素の補給や引き締まった身体づくり、スポーツのパフォーマンス向上を目的として、若年層における需要も増えております。

このような状況の下当社グループでは、前期に引き続き青汁などの定番商材の好調に加え、乳酸菌関連商材が伸長したOEM部門が牽引し、当第2四半期の連結売上高は8,338百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は598百万円（前年同期比15.9%増）、経常利益は617百万円（前年同期比22.6%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、連結子会社において固定資産売却益を計上した影響も加わり、502百万円（前年同期比48.2%増）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

当社グループの主力事業である当部門は、定番商材である青汁が好調を維持したほか、乳酸菌関連商材が伸びました。また、口腔ケアや育毛ケア等のコンプレックス対策商材も受注が増加しました。その結果、当部門の売上高は前年同期比2桁増となりました。

生産面については、粉末製品の生産量増加を受けて、昨年9月に大型流動層造粒機を1台増設しました。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、ベトナムのOEM顧客ならびにインドネシアのOEM顧客において、美容商材の受注が伸びました。また、韓国のAFC代理店において、通販事業の好調により受注が順調に推移いたしました。その結果、当部門の売上高は前年同期比2桁増となりました。

中国人営業担当による中国大手顧客の開拓を積極的に進めております。

・通信販売部門

昨年11月に新発売した夜用の美容クリーム『エクスシャイニー スリーピングマスク』が、サンプリングにより商品の使用感が好まれ、好調な売れ行きとなりました。また、定番人気商品である『薬用アミノ酸シャンプー爽快柑』が、広告露出の拡大および通販会員向けのキャンペーン実施により伸びました。しかしながら、通販市場の競争激化により、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

・卸販売部門

積極的に展示会への出展を継続したことが奏功し、新規顧客獲得による受注が増加しました。また、ハートフルシリーズに、昨年3月『恵むビタミンB群』『整う酵素』『若さのDHA・EPA・DPA』『囃むビタミンC』、昨年9月『呑むウコン』を新たに発売し、営業を強化したことにより、シリーズ全体が好調に推移いたしました。しかしながら、部門全体では売上高を伸ばすには至らず、当部門の売上高は前年同期並みに留まりました。

・店舗販売部門

百貨店主催の催事に積極的に出展したほか、セミナーや相談会を実施いたしました。また、人気商品『ラ・ヴィ・プラセンタ』が好調を維持したほか、昨年5月に新発売した『RICHアミノ3000』が、近年注目を集めている筋肉増強やロコモティブシンドローム対策の流れを受けて伸びました。しかしながら、店舗数の減少による影響を補い切れず、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高7,690百万円（前年同期比7.8%増）となりましたが、粗利益率の高い通信販売部門及び店舗販売部門が減収となった影響により粗利益率の悪化を招き、営業利益825百万円（前年同期比0.3%増）（全社費用調整前）に留まりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、一昨年11月に自社製造販売を開始した医療用ジェネリック医薬品の『ピムロ顆粒』（センナ下剤）を筆頭に『シルデナフィル錠』（勃起改善薬）、『フィナステリド錠』（AGA治療薬）の拡販に努めました。

一般用医薬品事業につきましては、前期に引き続き新規設備を使用した新商品開発及び承認申請に取り組みました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が647百万円（前年同期比10.1%増）となったものの、ジェネリック医薬品製造設備の減価償却費が増加したことなどにより、営業損失26百万円（前年同期は32百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ194百万円増加し、9,316百万円となりました。この増加要因は主として、商品及び製品が96百万円、現金及び預金が85百万円減少した反面、受取手形及び売掛金が239百万円、原材料及び貯蔵品が173百万円増加したことによるものであります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し、8,807百万円となりました。この減少要因は主として、連結子会社において物流センターを売却したことなどにより、有形固定資産全体で142百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ566百万円増加し、6,807百万円となりました。この増加要因は主として、支払手形及び買掛金が114百万円減少した反面、返済期限が1年以内に到来する長期借入金が流動負債へ振替られたことなどにより、短期借入金が726百万円増加したことによるものであります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ808百万円減少し、1,305百万円となりました。この減少要因は主として、返済期限が1年以内に到来する長期借入金が流動負債に振替られたことなどにより、長期借入金が768百万円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ357百万円増加し、10,010百万円となりました。この増加要因は主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が361百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年10月9日の「2019年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,079,507	3,994,350
受取手形及び売掛金	2,058,065	2,297,309
商品及び製品	1,066,864	970,134
仕掛品	870,670	871,010
原材料及び貯蔵品	873,082	1,046,226
その他	185,862	150,051
貸倒引当金	△12,233	△13,023
流動資産合計	9,121,818	9,316,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,940,298	2,895,999
土地	4,088,766	3,894,280
その他(純額)	1,035,343	1,132,046
有形固定資産合計	8,064,408	7,922,326
無形固定資産		
のれん	2,040	1,530
その他	93,236	100,791
無形固定資産合計	95,277	102,321
投資その他の資産		
その他	788,840	805,053
貸倒引当金	△62,623	△21,724
投資その他の資産合計	726,216	783,329
固定資産合計	8,885,902	8,807,977
資産合計	18,007,721	18,124,036
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,005,461	1,891,138
短期借入金	2,873,581	3,600,281
未払法人税等	202,668	221,111
賞与引当金	149,900	151,700
ポイント引当金	18,139	17,797
その他	991,089	925,637
流動負債合計	6,240,839	6,807,664
固定負債		
長期借入金	1,316,728	547,854
役員退職慰労引当金	164,995	172,701
退職給付に係る負債	299,297	304,499
負ののれん	1,689	1,408
その他	331,185	279,160
固定負債合計	2,113,895	1,305,624
負債合計	8,354,734	8,113,288

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,195,880	2,195,880
利益剰余金	5,411,873	5,773,599
自己株式	△59,284	△59,284
株主資本合計	9,680,309	10,042,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,322	△31,287
その他の包括利益累計額合計	△27,322	△31,287
純資産合計	9,652,986	10,010,747
負債純資産合計	18,007,721	18,124,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
売上高	7,723,819	8,338,164
売上原価	5,436,448	6,012,459
売上総利益	2,287,371	2,325,705
販売費及び一般管理費	1,770,784	1,727,209
営業利益	516,586	598,495
営業外収益		
受取利息	30	36
受取配当金	2,974	6,619
投資有価証券売却益	7,189	19,311
受取賃貸料	10,589	10,071
負ののれん償却額	281	281
その他	4,882	7,821
営業外収益合計	25,947	44,142
営業外費用		
支払利息	31,369	18,773
その他	7,097	5,953
営業外費用合計	38,466	24,727
経常利益	504,067	617,909
特別利益		
固定資産売却益	18	95,839
特別利益合計	18	95,839
特別損失		
固定資産除却損	1,145	9,964
投資有価証券評価損	—	6,485
特別損失合計	1,145	16,449
税金等調整前四半期純利益	502,941	697,299
法人税、住民税及び事業税	174,349	187,554
法人税等調整額	△10,369	7,381
法人税等合計	163,979	194,936
四半期純利益	338,961	502,363
親会社株主に帰属する四半期純利益	338,961	502,363

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	338,961	502,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,080	△3,964
その他の包括利益合計	2,080	△3,964
四半期包括利益	341,041	498,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,041	498,398
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	502,941	697,299
減価償却費	202,236	228,654
のれん償却額	228	228
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,400	1,800
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,453	△342
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△13,386	7,706
受取利息及び受取配当金	△3,005	△6,656
支払利息	31,369	18,773
固定資産売却損益(△は益)	△18	△95,839
固定資産除却損	1,145	9,964
投資有価証券評価損益(△は益)	—	6,485
売上債権の増減額(△は増加)	45,583	△239,243
たな卸資産の増減額(△は増加)	△109,204	△76,755
仕入債務の増減額(△は減少)	△92,538	△114,322
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,545	27,993
その他	19,301	△79,477
小計	610,051	386,269
利息及び配当金の受取額	2,992	6,641
利息の支払額	△31,297	△18,580
法人税等の支払額	△104,997	△129,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	476,748	244,904
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△405,208	△272,675
有形及び無形固定資産の売却による収入	18	291,181
投資有価証券の取得による支出	△124,917	△638,418
投資有価証券の売却による収入	127,921	570,902
その他	△12,070	△9,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△414,255	△58,359
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	206,879	210,000
長期借入れによる収入	1,122,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,376,036	△252,174
社債の償還による支出	△48,000	△60,000
配当金の支払額	△60,400	△140,024
その他	△9,869	△47,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165,425	△289,701
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△102,933	△103,156
現金及び現金同等物の期首残高	2,872,777	3,524,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,769,844	3,421,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	7,135,622	588,197	7,723,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,135,622	588,197	7,723,819
セグメント利益又は損失(△)	823,326	△32,996	790,330

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	790,330
全社費用(注)	△273,743
四半期連結損益計算書の営業利益	516,586

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	7,690,762	647,402	8,338,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,690,762	647,402	8,338,164
セグメント利益又は損失(△)	825,674	△26,248	799,425

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	799,425
全社費用(注)	△200,930
四半期連結損益計算書の営業利益	598,495

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。